

## 1 はじめに

本校は、本年度より文部科学省人権教育研究指定校となっている。児童の自尊感情をはぐくみ、友達と認め合いかわりあう力を育成するためには、国語科教育を研究の柱として新学習指導要領の趣旨に基づいた授業改善と読書活動の日常化を図ることが有効であると考え、研究を進めた。

## 2 研究のねらい

### (1) 実生活に生きる確かな学力の育成

児童主体の授業をめざすとともに、言語活動を充実して表現の場を設定することで、確かな学力の育成、さらには、児童の自己達成感と自信の獲得につなげる。

### (2) コミュニケーション能力の育成

グループ学習・ペア学習を導入して、対話力・司会力等の育成を図り、学習意欲の増進につなげるとともに、他教科、他領域をはじめ、日常生活の中で生きて働く言語能力にする。

### (3) 読解力、感性・情緒の育成

読書活動を学習の中心におき、国語と読書の融合を図り、読解力の育成と豊かな語彙の獲得をめざす。また、詩の音読や暗唱、伝統的な言語文化にふれる活動を通して、感性の育成を図る。

## 3 井上一郎先生に指導していただいたこと。

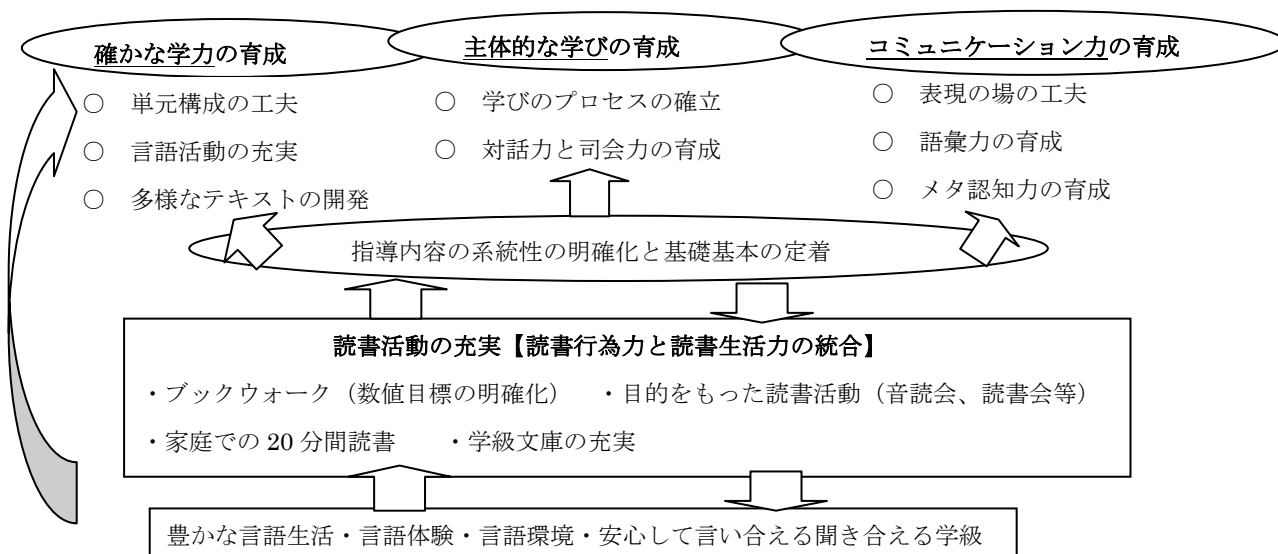
「授業は一人一人が語り、考える時間である。」「教育とは、子どもの自立を保障することである。」

- 教師主導の授業から児童主体の授業へ教師の意識変革の必要性
- 教師が、教材を分析する力、単元構成する力をつけることの重要性
- 読書を学習の中心におき、読書に拓く単元構成をする必要性
- 全ての児童に「分かる、できる、楽しい」を保障する責任

## 4 研究内容

### (1) 研究の概要

#### 【国語科全体構想】



### (2) 取組

- ① つけたい力の明確化と言語活動の充実を図る単元構成

- ・ 全職員で能力系統表を作成し、各学年及び各単元におけるつきたい力を明確化した。
- ・ 単元の導入では、つきたい力を児童と共有するとともに、ゴールをイメージし学習計画を立てさせた。その際、児童の必要感から課題を設定し、指導内容にリンクした言語活動を、相手意識、目的意識を明確にして取り入れた。

## ② 読書活動に拓く単元構成とブックウォーク

- ・ 図書館司書と連携を図り、様々なジャンルの本を必要に応じて教室に置き、目的に応じた読書活動を行った。
- ・ 全校でブックウォークや家族読書に取り組み、読書の日常化を図った。



## ③ 対話力、司会力の育成を図る、グループ学習

- ・ 学習過程にグループ活動を位置付け、話し合うポイントや目的を明確にして臨ませた。
- ・ 司会力の育成を図るために、グループ司会、全体司会を輪番で行わせた。

## ④ 語彙力の育成

- ・ マイ辞書の活用・難語句に付箋紙を貼らせることで視覚に訴えさせ、意欲付けを図った。
- ・ 表現活動の際、教師が作成した語彙表を活用させ、使用語彙の獲得を図った。

## ⑤ スモールステップの活動を保障するワークシート

- ・ 学習の見通しを図る支援として、ガイド的な役割をワークシートに入れ込むとともに、取材、選材、構成等表現のための過程をていねいに扱った。

## 5 研究の成果と課題

### (1) 実生活に生きる確かな学力の育成について

- ◎ 各単元でつきたい力や学習のゴールを児童と共有したこと、実の場を設定したことで、児童が本気で取り組み、主体的な学びが促進された。
- ◎ ワークシートの工夫、グループでの共同学習、スモールステップでの授業で、根気強く学習に取り組める児童が増えた。また、語彙表の活用で、理解語彙のみでなく使用語彙が増えつつある。
- △ 根拠を明確にし、筋道立てて自分の考えを述べたり、互いの意見を練りあって高めあったりする段階にまだ至っていない。友達の意見にかかわらせるための手立ての追究が必要である。

### (2) コミュニケーション能力の育成

- ◎ グループ学習、ペア学習の導入で発表の機会が増えたことが、児童の自信につながり、全体の場でも挙手する児童が増えた。また、パブリックな話し方を身につけるとともに、話し合いの進め方を理解することで意欲的に学習に取り組める児童が増えた。
- ◎ 共同学習により、相手の気持ちや立場を考えた言動が増えた。意見が対立した際も、自分の思いのみを一方向的に主張するのではなく、友達の意見も聞こうとする姿勢ができてきた。
- △ 国語科授業で獲得した司会力、対話力が実生活で生きてはたらく力とするために、引き続き、語彙指導、場に応じた話し方等の指導の在り方を研究していかなければならない。

### (3) 読解力、感性・情緒の育成

- ◎ 児童は多様なジャンルの本に出会う機会が増えた。そして、登場人物の気持ちを推し量ったり、自分の気持ちを表現するための語彙を増やしたりした。その結果、友達と意見が対立した際、相手の気持ちを慮った言動のできる児童が増えつつある。
- △ 読書活動の日常化を図るとともに、読書活動の充実が豊かな心の育成、より良い生き方への模索の過程となるような指導の在り方を追究していきたい。

## 第3学年〇組 国語科学習指導案

### 1 単元名 商売はんじょう 本屋になってお気に入りの本、PR大作戦！！

～心にのこる物語を紹介しよう～

中核教材 サークスのライオン（東京書籍 三年下）

### 2 単元について

本学級児童は、9月教材「こかげにごろり」で、あらすじをつかむとともにお話のおもしろさを様々な角度から見つけた。10月「めざせ童話作家！～世界にひとつだけの絵本をつくろう～」では、各自が、時、場、登場人物、事件を設定し、物語をつくった。これらの学習を通して、展開のおもしろさについては理解を深めてきているが、登場人物の性格や気持ちの変化についてはまだとらえられていない。読書冊数や読書傾向についても個人差が大きい。また、話す聞く能力をつけるための単元は5月に「倉田小学校の友達にビデオレターで自己紹介をしよう」以来、取り組んでいないため、話の中心をおさえた話し方や聞き手を引きつける話し方を十分に獲得することができていない。学習方法については、どの児童にも自分の考えを表出する場を設定し、友達とかかわりあうことで、よりよい考えがつけられる経験を増やしていきたいと考え、また司会力を育成していきたいという思いから、グループでの話し合いをできるだけ位置付けている。しかし、その実態は、自分の考えを伝えることのみで満足し、友達と自分の考えを比較したり、友達の考えを取り入れたりすることで自分の考えをより深めていくようなことができていない。

本単元では、「心に残る登場人物」という観点で、自分のお勧めの本を見つけて、他学級の友達に紹介する活動を設定した。目の前にいるお客さんに、自分のお勧めの理由や登場人物の魅力を伝える活動であり、友達の紹介を互いに聞きながら、読書の幅を広げさせることもめざしたい。そのために、中核教材も場面を追って読ませるのではなく、お話を丸ごと捉えながら読みダイナミックにお話を読む楽しさを味わわせていきたい。

#### 能力系統表に基づいた確かな学力の育成のために

本の紹介活動では、本を紹介する言葉を増やすとともに、なぜ紹介したいのか、その理由を十分説明することが必要になってくる。そのために、ワークシートで紹介する手順を示し、スモールステップで進めていきたい。また、実際の紹介場面では、本を提示したり、要約や引用した部分のページをめくって見せたり、音読をしたりするなどして、紹介が効果的に行われるように工夫させたい。

#### 友達と認め合い、かかわりあうために

学習過程にグループ活動を効果的に位置付け、輪番で進行することで司会力の共有を図るとともに、話し合うポイントや話し合ったことをどうするのかといった目的意識を明確にさせていきたい。また、話し合いを有意義なものにしていくために、各自が自分の考えをもって臨むようにさせたい。

### 3 単元目標

- ・ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。
- ・ 本のあらすじや登場人物の魅力、紹介したい理由を整理して、まとめることができる。
- ・ 相手を見たり言葉の強弱、間の取り方に注意したりして話すとともに、話の中心に気をつけて聞き、感想を述べることができる。

### 4 評価規準

ア 国語に関する関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	ウ 読む能力	エ 言語に関する知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・心のつながりについて描かれた本に興味を持ち、心に残る物語を紹介しようとしている。</li> <li>・大事なことを逃さない聞き方を考えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の中心を明確にし、相手を意識した視線、言葉の強弱、間の取り方で話している。</li> <li>・内容の中心を正しく聞き取り感想をもっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・叙述に即して情景や出来事の流れを読み取るとともに、性格や気持ちを表す言葉を使って登場人物を紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したり理解したりするために語句を増している。</li> </ul>

## 5 単元計画（15時間扱い）

次	時	・ 学習活動	☆ 学習活動における具体的評価規準（評価方法）	○ 支援
一 次	1	・既読で、心に残る物語を思い出し、お勧めの本を紹介する際に大切なことを話し合う。	☆登場人物の行動や気持ちを思い出そうとしている。（発言） ☆本の紹介の観点を見つけている。（ワークシート）	○心動かされた理由を板書し印象付ける。 ○紹介文のモデルを示す。
	2	・学習課題を設定し、つけたい力を確認するとともに学習計画を立てる。	☆本単元での課題とねらいを明確にし、学習の見通しを立てている。（ワークシート）	○相手意識、目的意識を明確にして、意欲をもたせる。
	時間外	・学級にお勧めの図書コーナーを設置し、朝の読書活動などを利用して読み始める。	☆紹介の目的でお勧めの本を読み続けようとしている。 （態度の観察・読書記録）	○教師による読み聞かせを行う。
二 次	3	・教材文を読んで、登場人物について心に残ることを中心に感想を書き、交流する。	☆出来事と、登場人物の気持ちと関係付けて書いている（ワークシート）	○いちばん感動したことを書かせる。
	4	・教材文について、時、場、登場人物の設定を読み取る。	☆季節や場所、登場人物の設定を読み取っている。（ワークシート、発表内容の把握）	○既習(物語作り)を想起させる。
	5	・物語の構造を読み取り、あらすじをつかむ。	☆はじめ・中（事件,展開,クライマックス）・終わりの構成を読み取っている。（ワークシート、発言）	○既習（物語作り）を想起させる。

	6	・少年と出会う前後のじんざの気持ちを読み取り、比較する。	☆少年との出会いで、前向きになったじんざの気持ちを読み取っている。(発言・ワークシート)	○変化の理由について根拠をはっきりさせて発表させる。
	7	・「炎の中に飛び込むじんざ」の気持ちについて読み取る。	☆少年を助けるために無我夢中になっているじんざの気持ちを読み取り、自分の思いをまとめている。(発言・ワークシート)	○「なあに。わしは火にはなれていますのじゃ。」の一文について考えさせ、じんざの気持ちに迫らせる。
	8	・「サーカスのライオン」の紹介文を書く。	☆紹介の表現様式を理解するとともに、登場人物の性格や気持ちを表す言葉を見つけている。(ワークシート)	○自分の考えを、教材文を根拠にもたせる。
三 次	9 10 11	・心動かされた中心人物について、紹介文にまとめる。	☆再読し、お話のイメージを膨らませている。(ワークシート)	○紹介の言葉、紹介文の組み立て表を提示する。
	12	・発表メモを作成する	☆キーワードを意識しながら発表用のメモに書き換えている。(発表メモ)	○キーワードを抜き書きさせる。
	13 14 本時	・グループごとに紹介の練習をする。	☆相手を意識した話し方を工夫している。(発表・感想カード) ☆紹介したい理由を聞きとっている。(発言・ワークシート)	○観点を明確にし、ポイントを絞ったアドバイスになるようにさせる。
	15	・本屋を開き、本の紹介をするとともに、本を売る。	☆自分の心にのこった物語についてその感動を伝えようとしている。(発表)	○シールをお金に見立て、多く獲得できるよう意識付ける。
	時間 外	・友達が紹介した本を読む。	☆お勧めの本の紹介を参考にしながらいろいろな本を読もうとしている。(読書記録表)	○ブックウォークで期間を決め、意欲付けを図る。

## 6 本時の学習

### (1) 本時目標

- ・ 紹介を聞いて、登場人物の魅力や本のおもしろさを見つけることができる。
- ・ アドバイスしあうことで、発表の内容、視線、言葉の強弱、間の取り方等、聞き手を意識した話し方ができる。

### (2) 準備

児童：発表メモ 発表資料、お勧めの本、探検バッグ、ワークシート

教師：付箋紙、アドバイス（感想）カード

授業会場：多目的室

### (3) 学習過程

児童の学習活動	主な発問と児童の反応	◎支援及び○留意点、※評価
<p>1 班毎に練習をするときめあてを確認する。</p>		<p>○グループ間で聞きあい、友達の紹介のよさに学ぶとともに、より良い発表に向けて改善点を見つけていくことを確認する。</p>
<p>・買い手を意識した話し方の工夫をしよう。(話し手・聞き手)          ・売り手の紹介した本のおもしろさを見つけ、感想をもったり質問をしたりしよう。(聞き手)</p>		
<p>〈聞く立場〉          ・お勧めの理由を聞き取り、買って見たい本を探すこと。          〈発表・アドバイザーの立場〉          ・相手を見る視線、言葉の強弱、間の取り方を考えること。          ・お勧めの本の魅力が相手に伝わっているか。</p> <p>2 グループ同士でペアになり、発表練習をする。          (1) 発表する。          (2) 感想カードを書く。          (3) 発表内容について聞く側の感想を共有する。          (4) 発表の仕方についてのアドバイスを共有する。</p> <p>3 グループで改善点について話し合う。</p> <p>4 友達から推薦された児童の発表に学ぶ。</p> <p>5 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。          ・振り返りカードを書く。          ・次時は本屋を開き、友達に本の紹介をすることを確認する。</p>	<p>○練習の観点を確認しよう。</p> <p>○グループでペアになり練習を始めよう。</p> <p>○自分の改善点を確認しよう。</p> <p>○友だちの発表に学ぼう。</p> <p>○学習を振り返ろう。</p>	<p>○聞き手には、感想・アドバイスカードを配り、聞くポイントを意識させる。          ◎発表グループは資料の提示などの準備について確認するよう助言する。          ○発表の後、聞く側には買いたい本とその理由を記録させるとともに、発表態度をメモさせ、話し合いにいかすようにさせる。また、発表者にも自分の発表をふり返らせる。          ※相手を意識して視線を動かしたり、言葉の強弱や間の取り方を考えたりして紹介している(観察)          ※お勧めの理由を聞き取り、本の魅力を見つけている。          ○話し合いは、発表グループの中から司会を立て行わせる。          ○理由を伝え、良かった点、改善点を具体的にアドバイスさせる。          ◎指導者も付箋紙でアドバイスする。          ◎質問があればメモさせ、紹介文に入れるべきか検討させる。          ○改善点をまとめさせる際は、2の活動を想起させ、友達の良いところに学ばせる          ※自身の発表の改善点を明確にしている。(ワークシート)          ○改善点を発表し、全体のものにするとともに、発表内容、態度の上手な児童から自分改善点について学ばせる。</p>